

平成 23 年 11 月 2 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 浅野 樹美
(TEL 03 - 6225 - 2207)

タイ洪水被害の当社グループへの影響について (第 8 報)

当社の連結子会社である Group Lease PCL (以下、G L) における、このたびのタイ国内での洪水発生に伴う影響に関しまして、平成 23 年 11 月 2 日朝の時点で確認されております事項をご報告いたします。

記

1. G L 本社近辺について

G L 本社は週末も含め本日も通常通り営業いたしております。本社近辺において、運河沿いなど浸水が進む地域も発生しておりますが、通常通りの営業を行うことができる状況です。今後、本社付近で浸水が始まった事実を受け、注意深く見守ってまいりたいと考えております。

2. G L アユタヤ支店近辺について

G L のアユタヤ支店の状況につきましては、すでに平成 23 年 10 月 20 日にお知らせいたしておりますように営業停止の状況にあります。同支店自体の人的・物的被害はないことを確認しております。

新しい報告が入った場合にはお知らせいたします。

3. G L その他の支店

タイ最大の工業地帯であります、イースタンシーボード地域 3 支店、タイ東北地方のナコンラチャシマ県 1 支店につきましては、洪水の影響はなく、今後とも影響を受ける可能性は低いと現時点では判断しております。

なお、現在日本の報道にあります、バンコク東方の工業団地とは、バンコク近郊に位置しますいくつかの工業団地の事であり、G L の支店がある、タイ最大の工業地帯でありますイースタンシーボードではありません。

4. バンコクの状況について

バンコク全体において、様々な地区において一進一退の中、防水から排水へ移行する地域が増えており、楽観のムードが漂いつつあります。しかしながら、一方で新たに浸水した地域があるなど、必ずしも全面的に楽観できる状況ではございません。

(コンクリートの擁壁を自分の手で壊して水を排出する住民)



(買い出しをして浸水地域の自宅へ軍のトラックで帰る。両手にスーパーマーケットの買い物袋)



5. GL業績への影響について

GL社、本社近くで浸水が起こっている地域が発生していることもあり、完全に楽観視できる状況にはありませんが、影響は限定的、短期的であると判断しております。新規契約数等の営業活動についても、現時点では深刻な影響は見られない状況で推移しております。

なお、すでに、本社近辺において浸水が起こった場合においても営業を継続し、影響を最小限に抑える体制が整ったこと、本社自身が浸水に見舞われた場合に対する対策も完了したこと、その際における指揮命令系統、情報収集などの体制も整ったことを確認したため、当社会長の此下竜矢は本日より日本に帰国しております。

すでに山場は乗り切ったとの観測もありますが、楽観視せず、被害の最小化と社業の発展に尽力してまいります。新たな情報等がありましたら、投資家の皆様、市場関係者の皆様、その他の関係者の皆様にご報告申し上げます。

なお、先日から掲載している写真につきましては、すべて当社会長の此下竜矢が現地にて撮影したものです。

以 上